

ご挨拶

謹啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度第6回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会を2020年11月7日（土）・8日（日）に別府市の別府国際コンベンションセンターにおいて開催させていただく予定でしたが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大に伴い、参加者の皆様の安全と感染拡大防止を考慮し、web 会議システムを利用してオンラインでの地方会として開催させていただくこととなりました。

2018年12月には「脳卒中・循環器病対策基本法」が成立し、包括的心臓リハビリテーションの役割はこれまで以上に重要なものとなり、多職種による活動範囲はますます多岐にわたっております。

第6回目となる今回、「若い世代へも伝えよう～食育、体創、心臓リハビリテーション～」をテーマと致しました。このテーマを決定した後に新型コロナウイルス感染症の拡大によって、私たちは誰も経験したことがない事態に直面することとなりました。情報が錯綜し、日常が当たり前ではないものとなりました。現在も先が見えない状況ではございますが、今回のテーマである食育、体を創ることはいつの時代も、いかなる状況下でも人が生きていく基本となります。本会がこれからの心臓リハビリテーションを担う世代に何を、どのように受け継いでいくか、そして未来の心臓リハビリテーションを共に創るための学びや意見交換の場になればと願っております。

そして特別講演では、国家公務員共済組合連合会立川病院顧問の三田村秀雄先生にご講演頂きます。先生は公益財団法人日本 AED 財団の理事長をお務めで、心臓リハビリテーションの現場で重要な心電図や救急救命について学ぶ貴重な機会となります。

その他にもシンポジウム、教育講演、オンデマンドでの CPX のレクチャーや心リハ指導士受験対策などの新しい試みを盛り込んだプログラムを企画しております。多数の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

謹白

第6回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会

会長 高橋 尚彦

（大分大学循環器内科・臨床検査診断学講座教授）